

平成30年 火災・救急・救助の概要



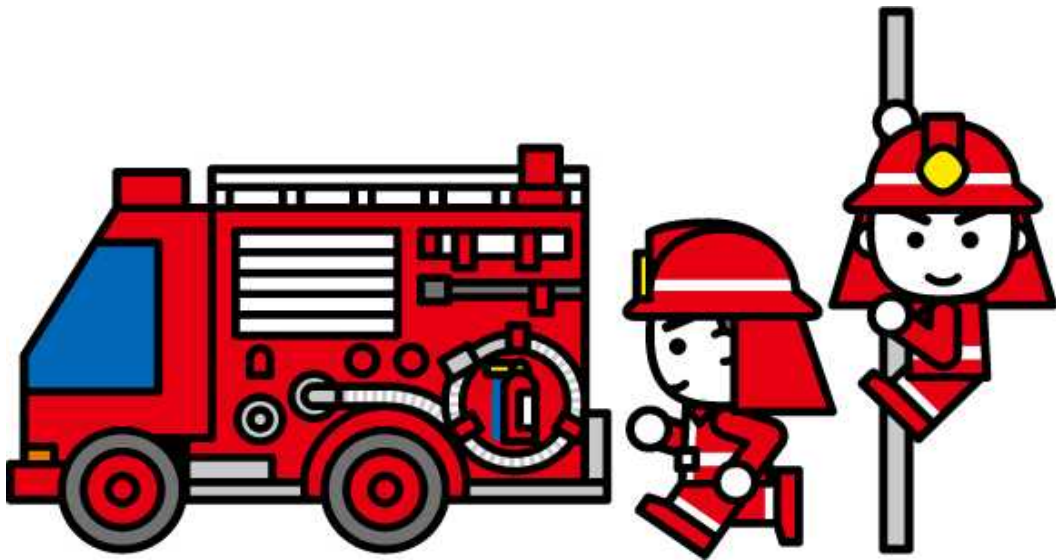
舞鶴市消防本部

消防本部ホームページ <http://www.maizuru119.com/>

Eメールアドレス syoubou@city.maizuru.lg.jp



火災



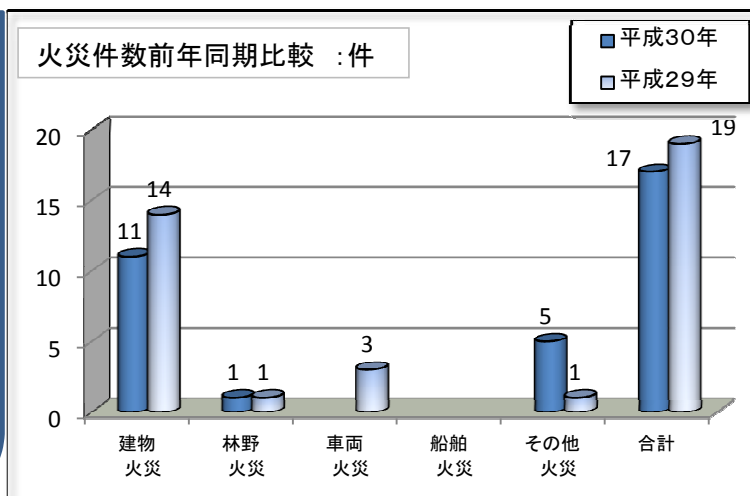
平成30年 火災概要

《火災の概要》

平成30年中の火災件数は17件で、前年から2件減少しました。

火災種別では、建物火災11件、林野火災1件、その他火災5件となっています。

火災原因の主なものは、たき火が3件、こんろ、電気機器が各2件、たばこ、煙突・煙道、火あそび、取灰、放火の疑いがそれぞれ1件となっています。

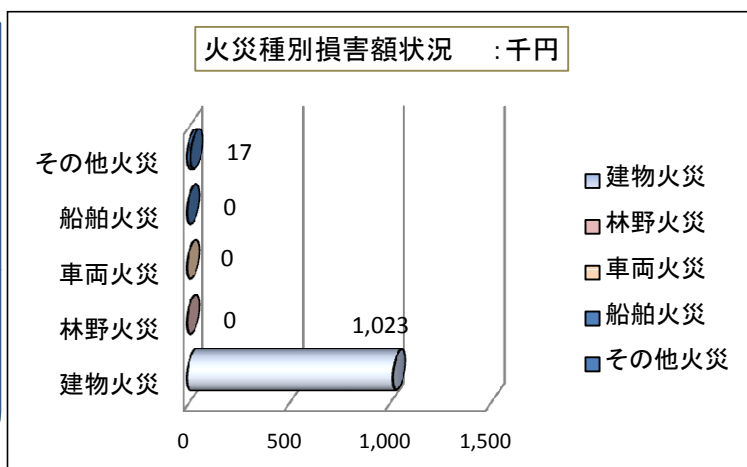


《火災損害状況》

火災損害額は、1,040千円で、前年と比較すると10,300千円減少し、うち建物火災による損害額が1,023千円と全火災の損害額の98%を占めています。

火災1件あたりに換算すると61千円/件となっています。

1日あたりに換算すると、3千円/日となっています。



《焼損面積等》

建物焼損面積については、焼損床面積が273平方メートル、焼損表面積が22平方メートルで、焼損面積の合計は295平方メートル(平成29年中374平方メートル)となっています。また、林野が14平方メートル焼損しています。

《死者及び負傷者》

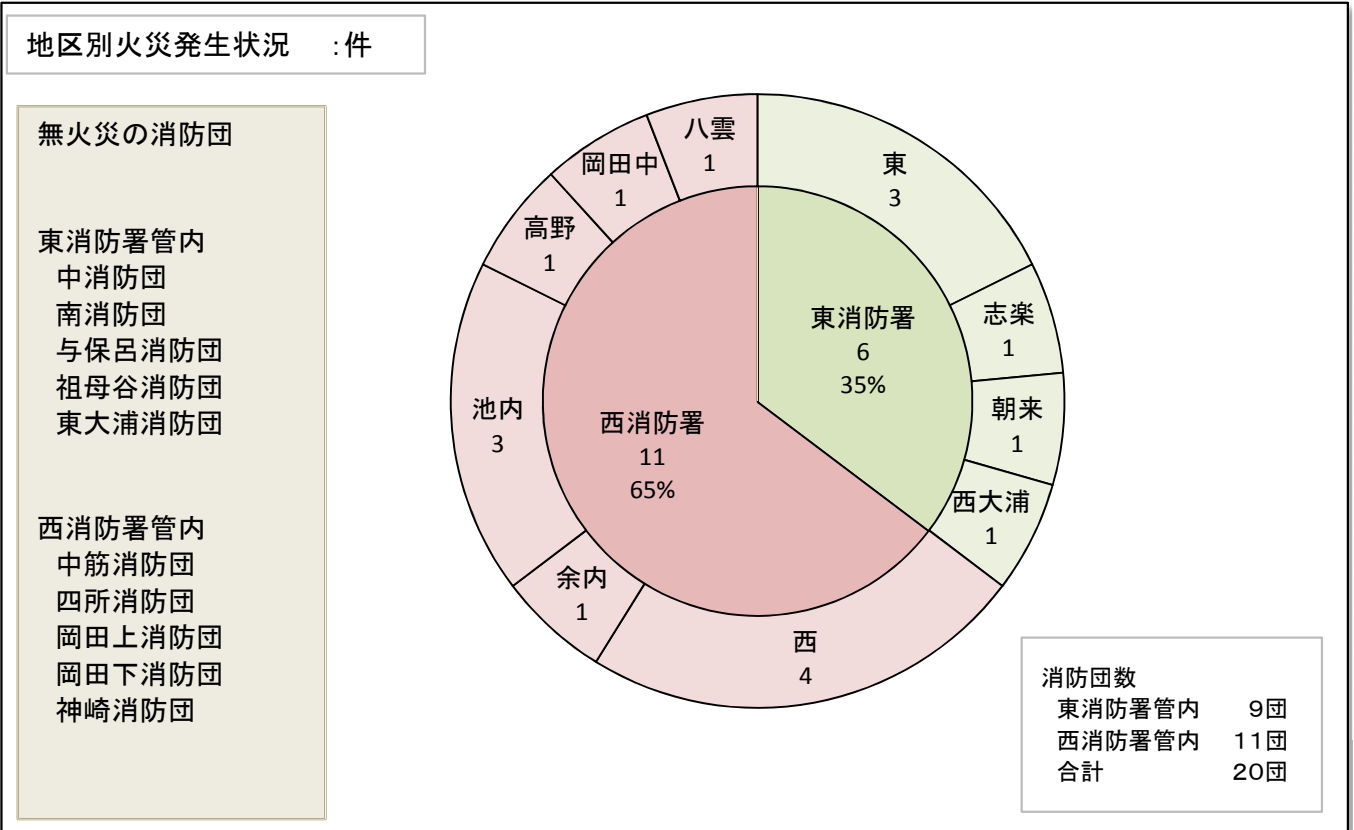
火災による死傷者数は、負傷者が1名(平成29年中死者2名、負傷者2名)発生しました。

住宅用火災警報器の点検をしましょう!



《地区別火災発生件数》

火災件数を消防署管轄別で見ると、東消防署管内が6件、西消防署管内が11件発生しています。
 また、消防団管轄区域別で見ると、西消防団管内で4件発生し、東消防団及び池内消防団管内で各3件、志楽消防団、朝来消防団、西大浦消防団、余内消防団、高野消防団、岡田中消防団、八雲消防団管内でそれぞれ1件発生しています。



過去5年間の火災概要

火災種別出火件数の推移

(単位: 件)

	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
平成26年	12		1	1	5	19
平成27年	12	1	2		2	17
平成28年	11		4		2	17
平成29年	14	1	3		1	19
平成30年	11	1			5	17

火災種別損害額の推移

(単位: 千円)

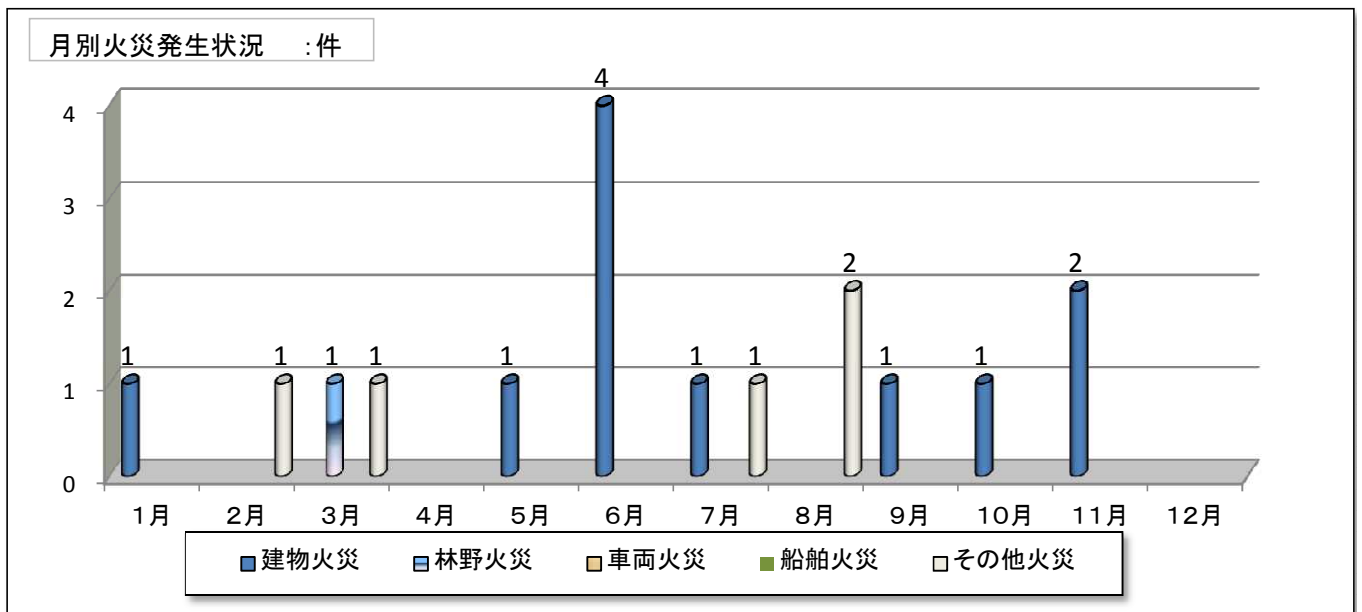
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
平成26年	65,970		130	53	99	66,252
平成27年	63,190		208			63,398
平成28年	158,994		342		14	159,350
平成29年	11,325		15			11,340
平成30年	1,023				17	1,040

火災概況及び前年比

種別		年別	平成30年	平成29年	比較(△減)
出火件数	計		17 件	19 件	△ 2 件
	建物		11 件	14 件	△ 3 件
	うち住宅火災		6 件	10 件	△ 4 件
	林 野		1 件	1 件	0 件
	車 両		0 件	3 件	△ 3 件
	船 舶		0 件	0 件	0 件
	その他		5 件	1 件	4 件
焼損面積等	建物床面積(m ²)		273 m ²	326 m ²	△ 53 m ²
	建物表面積(m ²)		22 m ²	48 m ²	△ 26 m ²
	林 野(a)		14 a	12 a	2 a
	車 両(台)		0 台	2 台	△ 2 台
	船 舶(艇)		0 艇	0 艇	0 艇
	その他(m ²)		3,449 m ²	28 m ²	3,421 m ²
焼損棟数	全 焼		2 棟	5 棟	△ 3 棟
	半 焼		0 棟	1 棟	△ 1 棟
	部分焼		2 棟	5 棟	△ 3 棟
	ぼ や		7 棟	9 棟	△ 2 棟
損害額	建物火災		1,023 千円	11,325 千円	△ 10,302 千円
	建物火災以外		17 千円	15 千円	2 千円
	合 計		1,040 千円	11,340 千円	△ 10,300 千円
り災世帯	全 損		0 世帯	3 世帯	△ 3 世帯
	半 損		0 世帯	0 世帯	0 世帯
	小 損		6 世帯	10 世帯	△ 4 世帯
り災人員			9 人	28 人	△ 19 人
死傷者	死 者		0 人	2 人	△ 2 人
	負傷者		1 人	2 人	△ 1 人
火災発生間隔			21.5 日	19.2 日	—————
1件平均損害額			61 千円	597 千円	△ 536 千円
1日平均損害額			3 千円	31 千円	△ 28 千円

月別火災発生状況

種別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出火件数	計	1	1	2		1	4	2	2	1	1	2	17
	建物	1				1	4	1		1	1	2	11
	うち住宅火災	1					2	1		1	1		6
	林野			1									1
	車両												
	船舶												
その他		1	1				1	2					5
焼損面積	建物床面積(m ²)					270	1				2		273
	建物表面積(m ²)						21			1			22
	林野(a)			14									14
	車両(台)												
	船舶(艇)												
	その他(m ²)			664				150	2,635				
焼損棟数	全焼					1					1		2
	半焼												
	部分焼						2						2
	ぼや	1					2	1		1	1	1	7
損害額(千円)	計		17			600	351	24		39		9	1,040
	建物					600	351	24		39		9	1,023
	林野												
	車両												
	船舶												
	その他		17										17
り災世帯	全損												
	半損												
	小損	1					2	1		1	1		6
	り災者数	2					3	2		1	1		9
死傷者	死者												
	負傷者							1					1



覚知時間別火災発生状況

(単位:件)

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別					合計
	建物	林野	車両	船舶	その他													
0時～1時																		0
1時～2時																		0
2時～3時																		0
3時～4時																		0
4時～5時					1					1				2				2
5時～6時																		0
6時～7時		1															1	1
7時～8時																		0
8時～9時						1								1				1
9時～10時																		0
10時～11時								1									1	1
11時～12時									1					1				1
12時～13時																		0
13時～14時						1	1							2				2
14時～15時																		0
15時～16時			1									1		1			1	2
16時～17時			1												1			1
17時～18時	1					1	1	1						2			2	4
18時～19時																		0
19時～20時																		0
20時～21時						1						1		2				2
21時～22時																		0
22時～23時																		0
23時～24時																		0
合計	1	1	2	0	1	4	2	2	1	1	2	0	11	1	0	0	5	17

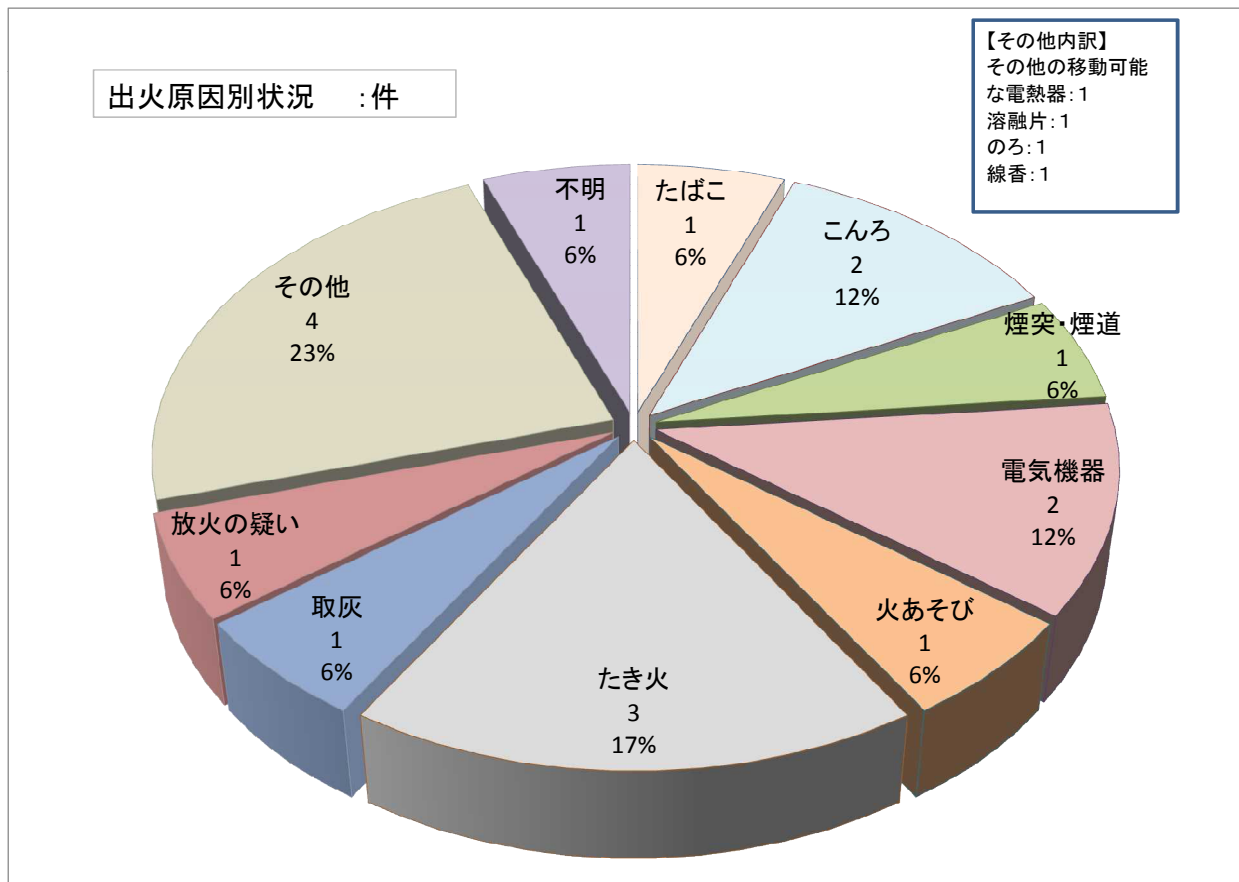
曜日別火災発生状況

(単位:件)

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別					合計
	建物	林野	車両	船舶	その他													
日曜日										1				1				1
月曜日	1					1		1	1					3			1	4
火曜日			1			1	1							2			1	3
水曜日			1		1									1	1			2
木曜日																		0
金曜日						1						2		3				3
土曜日		1				1	1	1						1			3	4
合計	1	1	2	0	1	4	2	2	1	1	2	0	11	1	0	0	5	17

出火原因別状況

原因	火災件数(件)						損害額 (千円)	焼損面積等						負傷者 (人)	死者 (人)
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)	船舶 (艇)	その他 (㎡)		
たばこ	1	1					121		11						
こんろ	2	2													
煙突・煙道	1	1					4								
電気機器	2	2					64		1						
火あそび	1		1							14					
たき火	3					3						3449			
取灰	1	1					5	2							
放火の疑い	1					1									
その他	4	3				1	846	271	10					1	
不明	1	1													
合計	17	11	1	0	0	5	1,040	273	22	14	0	0	3449	1	0



消防事故の概要

≪消防事故の概要≫

平成30年中の消防事故件数は、313件で昨年に比べ73件増加しました。
 その要因として、平成30年7月豪雨や台風などによる自然災害が135件(平成29年中104件)と多く発生したことによるものです。

消防事故発生状況

種 別	年 別	平成30年	平成29年	前年との比較
	消 防 事 故 種 別	焼 損 事 故	6	
爆 発 事 故			1	△ 1
漏 洩・流 出 事 故		26	23	3
電 気 事 故		3	1	2
燃 焼 放 置 事 故		1	4	△ 3
誤 報 事 故		23	23	0
そ の 他 の 事 故		254	188	66
合 計		313	240	73

救 急



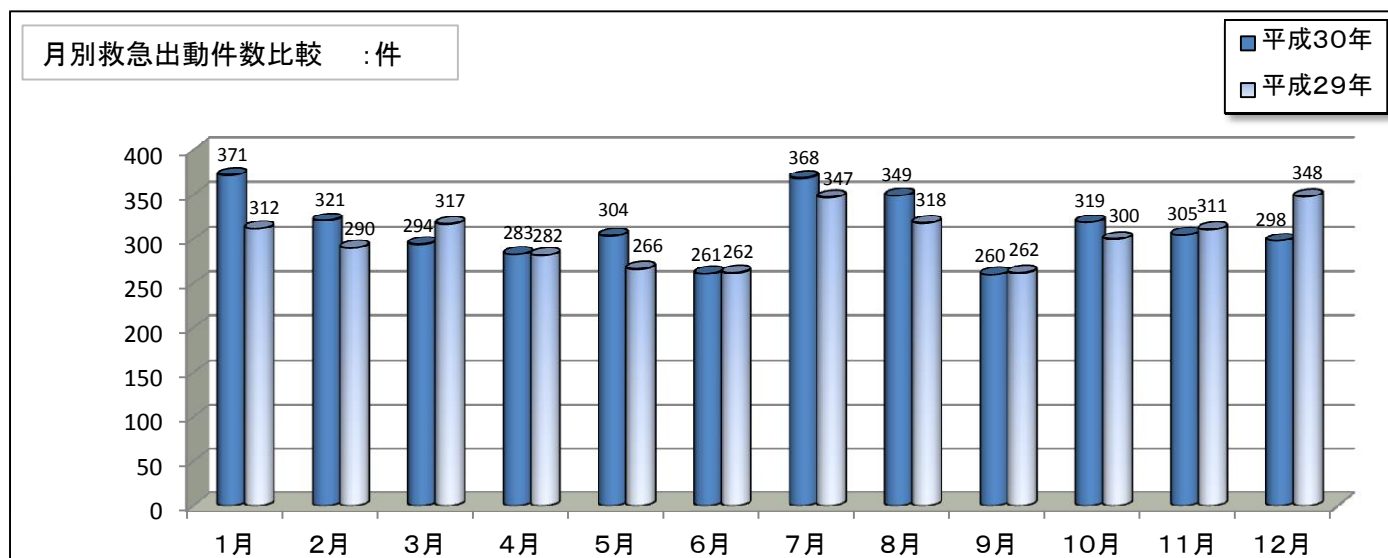
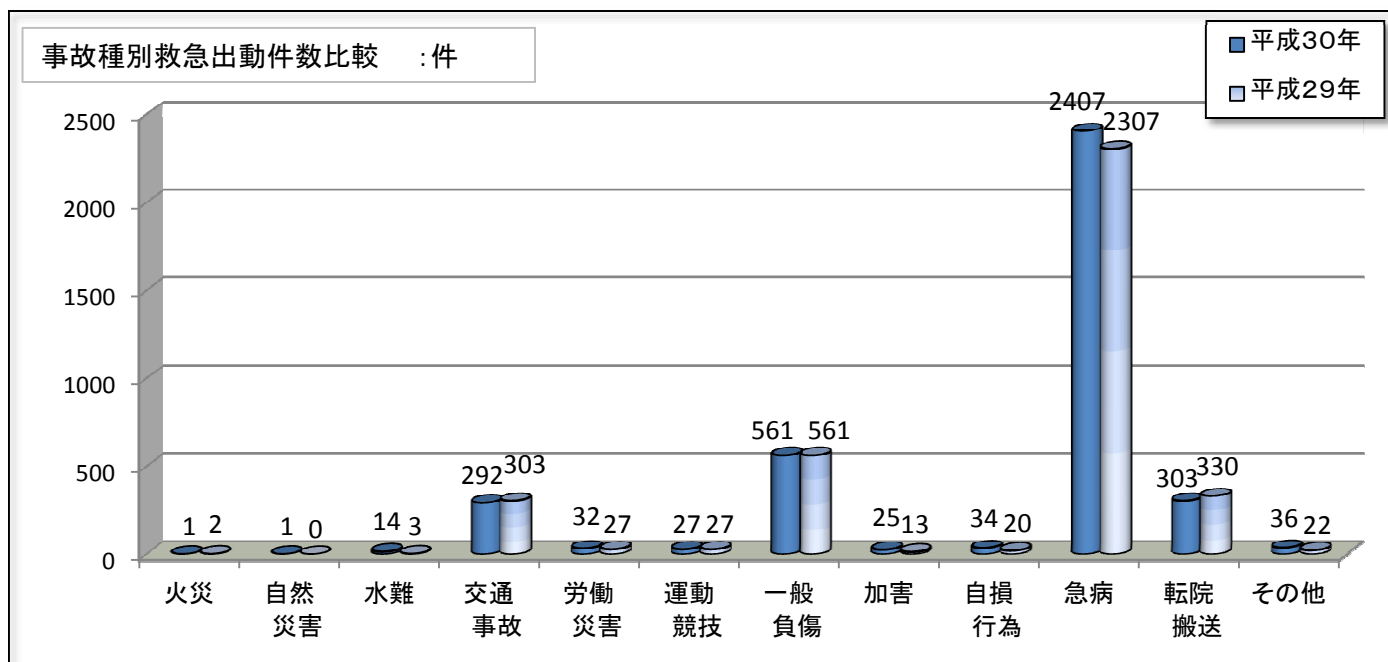
平成30年 救急概要

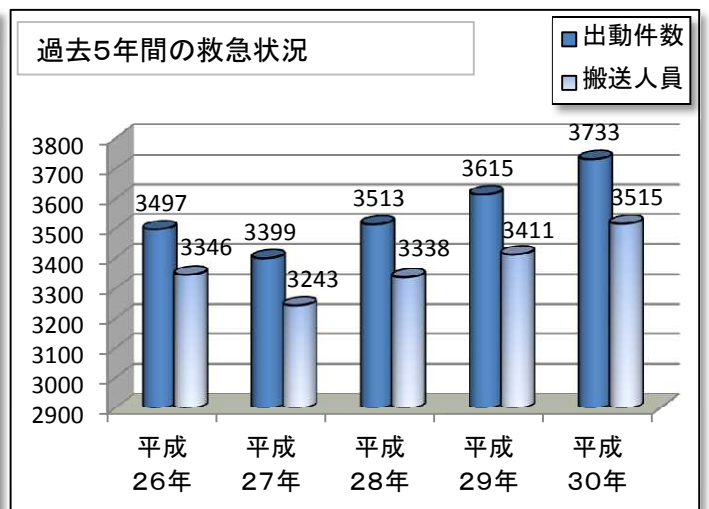
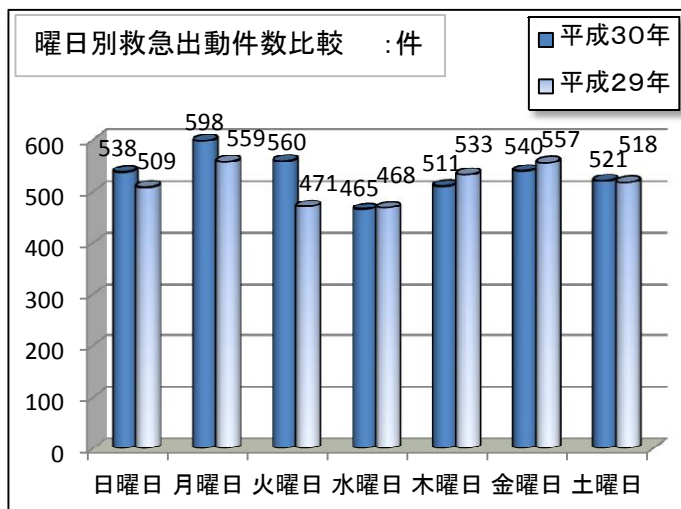
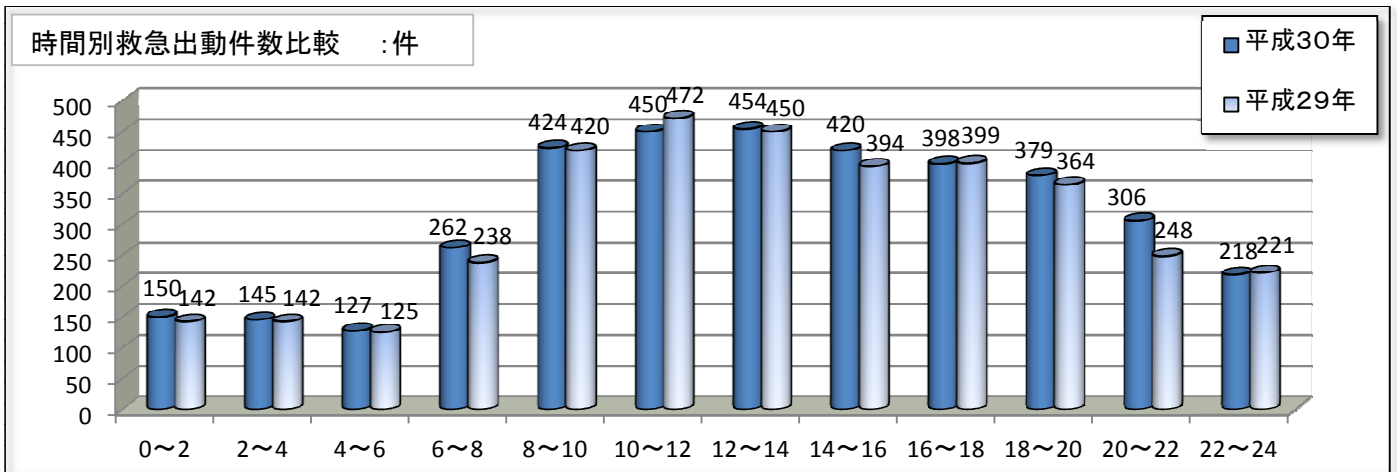
《救急の概要》

平成30年の救急出動件数は3,733件で、前年(3,615件)と比較すると118件の増加、救急搬送人員については3,515人で、前年(3,411人)と比較すると104人の増加となり出動件数、搬送人員ともに過去最多となっています。

《救急出動件数》

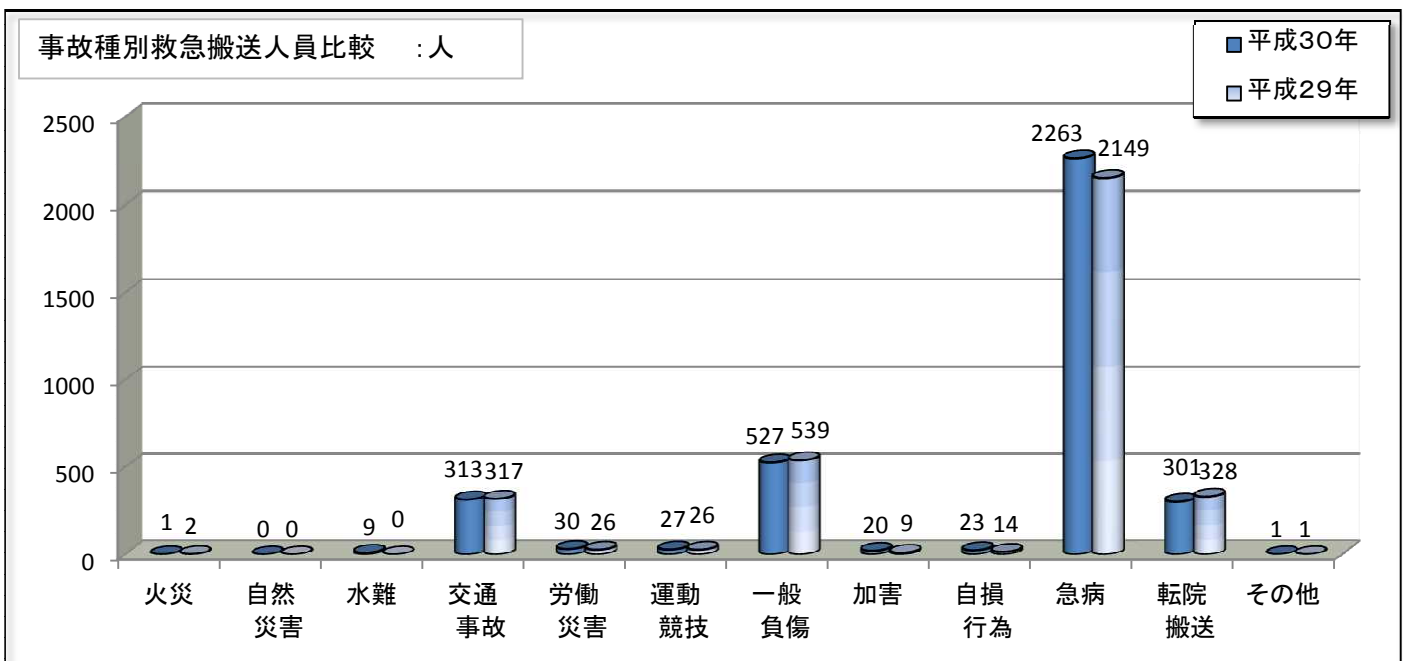
事故種別救急出動件数をみると、急病は2,407件、一般負傷561件、転院搬送303件、交通事故292件の順となり、前年と比較すると、急病は100件増加し、自損行為は14件増加、加害は12件増加しています。また、転院搬送は27件減少、交通事故は11件減少、火災は1件減少しています。





《搬送人員状況》

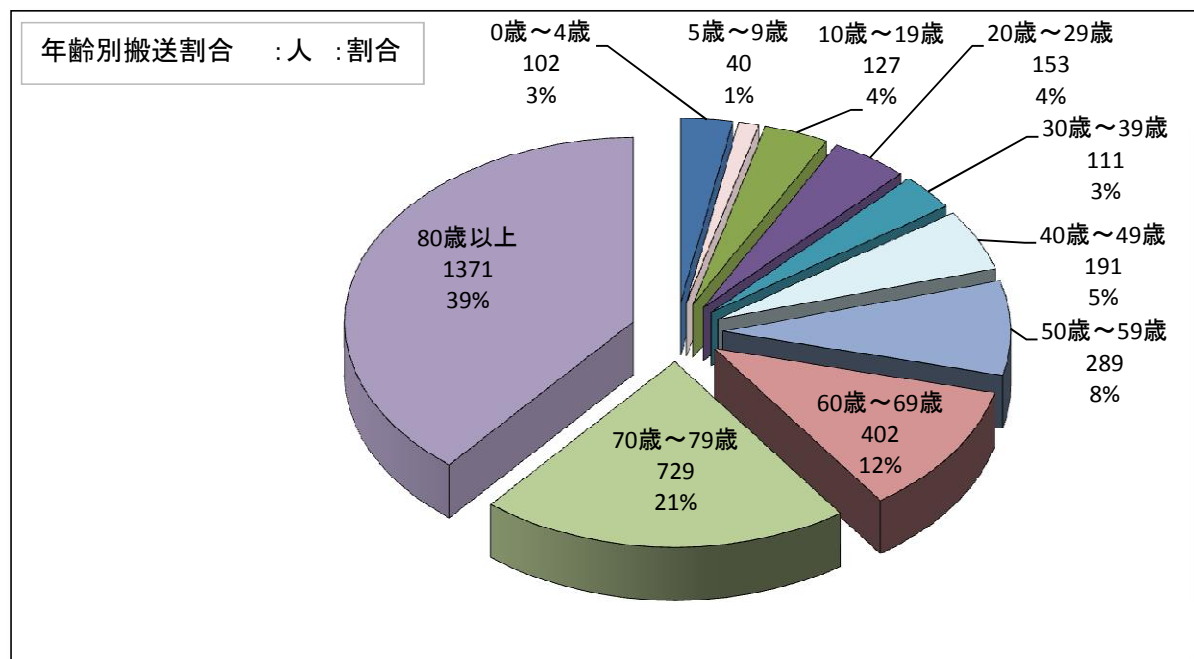
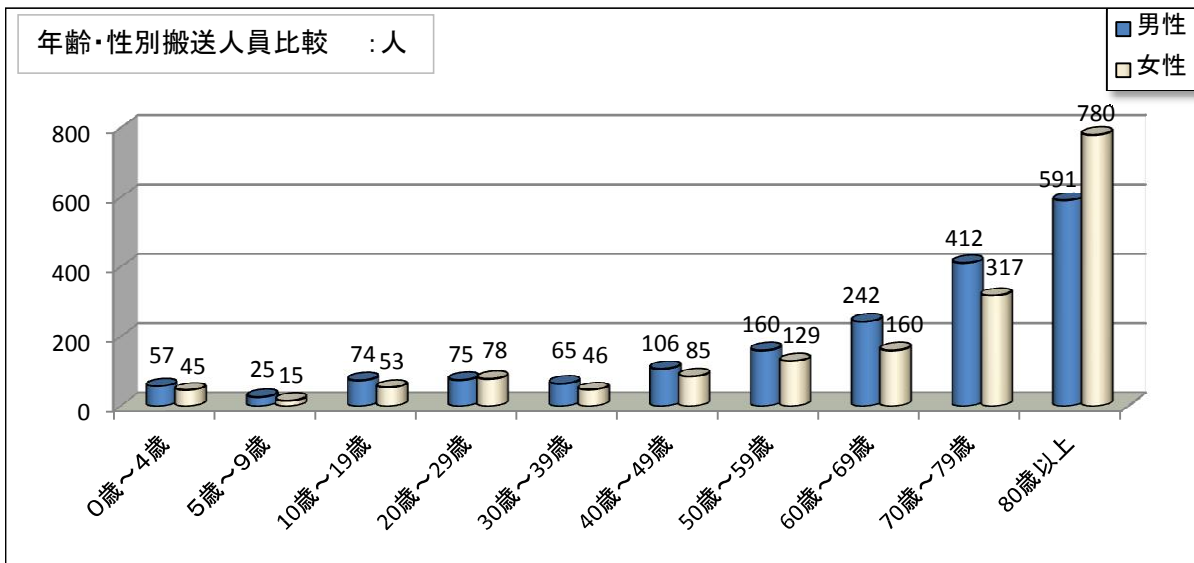
救急搬送人員は3,515人で、性別では男性が1,807人、女性が1,708人となっています。
年齢区分別の搬送人員は、70歳以上が2,100人と全体の約60%を占めています。



《年齡・性別搬送人員比較》

(單位:人)

年齡	平成30年			平成29年			比較(△減)		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0歳～4歳	57	45	102	58	42	100	△ 1	3	2
5歳～9歳	25	15	40	27	18	45	△ 2	△ 3	△ 5
10歳～19歳	74	53	127	60	53	113	14	0	14
20歳～29歳	75	78	153	70	58	128	5	20	25
30歳～39歳	65	46	111	58	68	126	7	△ 22	△ 15
40歳～49歳	106	85	191	104	102	206	2	△ 17	△ 15
50歳～59歳	160	129	289	153	87	240	7	42	49
60歳～69歳	242	160	402	269	153	422	△ 27	7	△ 20
70歳～79歳	412	317	729	384	280	664	28	37	65
80歳以上	591	780	1,371	536	831	1,367	55	△ 51	4
合計	1,807	1,708	3,515	1,719	1,692	3,411	88	16	104



《傷病程度別搬送状況》

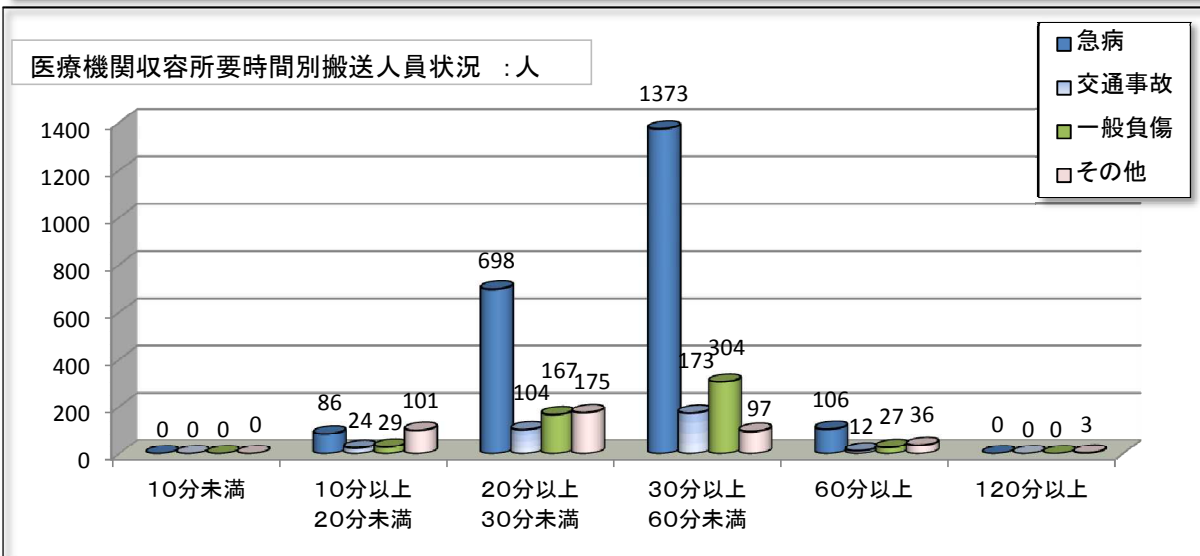
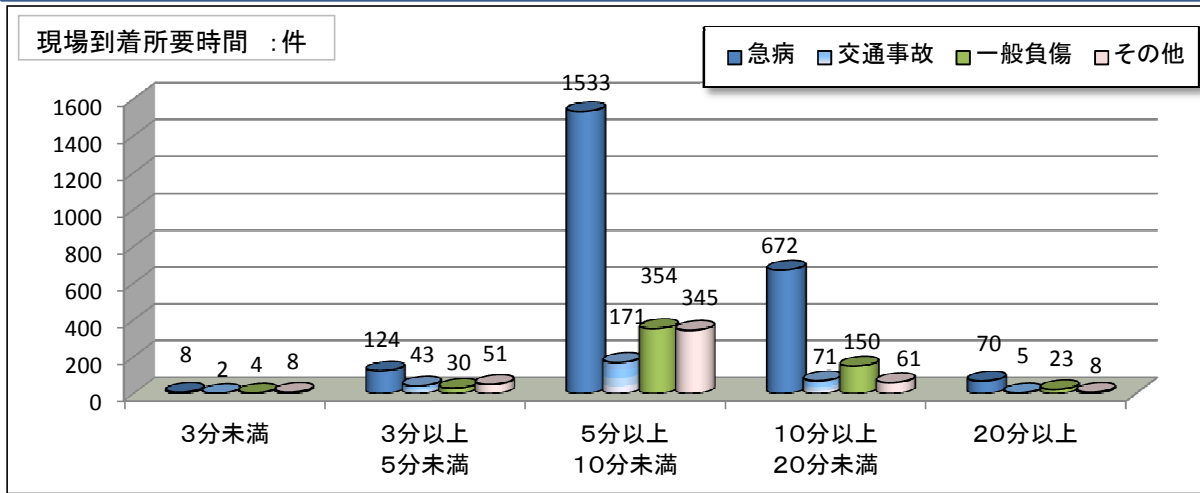
傷病程度別搬送状況は軽症が1,701人で全搬送人員の約48%を占め、次いで中等症1,222人(約35%)、重症514人(約15%)の順となっています。

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計(人)
急病	63	261	850	1,089	0	2,263
一般負傷	3	123	131	270	0	527
交通事故	1	23	49	240	0	313
その他	11	107	192	102	0	412
合計	78	514	1,222	1,701	0	3,515

- ※ 死亡:初診時において、死亡が確認されたもの
- 重症:傷病の程度が21日以上入院加療を必要とするもの
- 中等症:傷病の程度が入院を要するもの(21日未満の入院)
- 軽症:傷病の程度が入院を必要としないもの
- その他:医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

《救急所要時間状況》

救急隊が119番を受信してから現場到着するまでの所要時間は、平均8.6分となり、医療機関収容所要時間の平均は35分となっています。
医療機関への収容所要時間で60分以上要している中には、市外への搬送も含まれています。



《事故種別でみる搬送先別搬送者数》

(単位:人)

事故種別 搬送医療機関	救急事故種別											合計	
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
											転院搬送		その他
舞鶴市内	1	0	8	312	27	27	523	20	21	2,255	261	1	3,456
管外	中丹									8	15		23
	府下 (中丹以外)										20		20
	府外			1	1	3	4		2		5		16
その他の場所													0
合計	1		9	313	30	27	527	20	23	2,263	301	1	3,515

※ドクターヘリ搬送は、府外へ計上。その他の場所は、搬送先が医療機関以外のものを計上(例:老人ホーム、歯科など)

《急病比較(年間)》

区分	年別				
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全搬送人員	3,346	3,243	3,338	3,411	3,515
急病搬送人員	2,131	2,037	2,166	2,149	2,263
急病による搬送人員の全搬送人員に対する割合	64%	63%	65%	63%	64%

《急病にかかる疾病分類別傷病程度》

(単位:人)

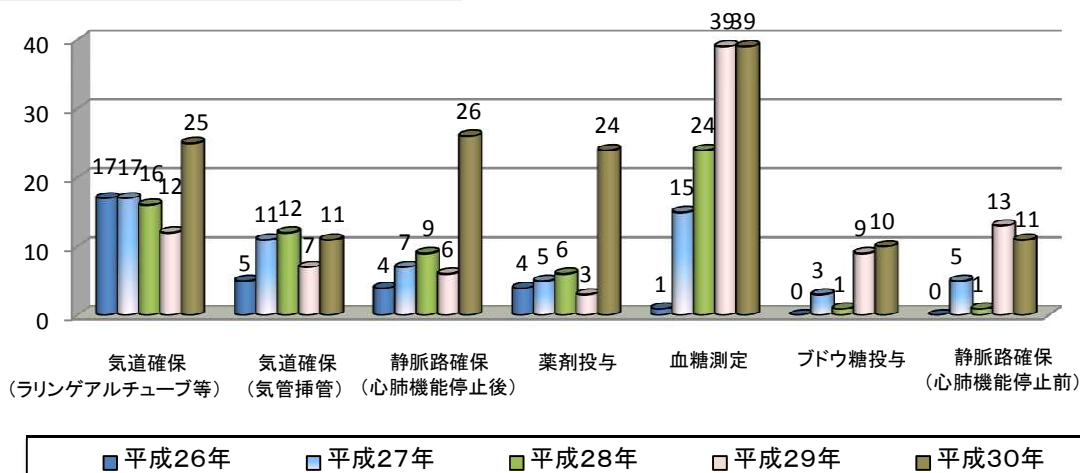
傷病程度 疾病分類	傷病程度					合計	
	死亡	重症	中等症	軽症	その他		
循環系	脳疾患	1	84	63	26	0	174
	心疾患等	59	40	86	71	0	256
消化系	0	19	103	53	0	175	
呼吸系	1	41	182	89	0	313	
精神系	0	3	18	81	0	102	
感覚系	1	5	70	101	0	177	
泌尿系	0	4	42	41	0	87	
新生物系	1	11	33	3	0	48	
その他	0	41	164	270	0	475	
症状・徴候 診断名不明確	0	13	89	354	0	456	
合計	63	261	850	1,089	0	2,263	

《応急処置・救命処置実施状況》

搬送人員3,515人の内、救急隊員が何らかの応急処置を実施した対象人員は3,498人で全搬送人員の99%にあたり、応急処置総合計は13,297件で搬送人員1人あたり4件の応急処置をしたこととなります。また、救急救命士による救命処置をみると器具による気道確保36件(ラリングアルチューブ等25件、気管挿管11件)、静脈路確保37件(心肺停止前11件、心肺停止後26件)、薬剤投与24件、血糖測定39件、ブドウ糖投与10件実施しました。

処置別	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	止血	9	12	40	7	68
	固定	7	78	32	14	131
	人工呼吸	8	0	1	0	9
	胸骨圧迫	0	0	0	0	0
	心肺蘇生	82	1	4	7	94
	うち自動	0	0	0	0	0
	酸素吸入	629	18	42	118	807
	気道確保(特定行為除く)	91	2	4	13	110
	保温	1,106	58	183	164	1,511
	被覆	8	47	103	23	181
	在宅療法継続	147	4	16	14	181
	ショックパンツ	0	0	0	0	0
	血圧測定	2,118	293	506	345	3,262
	聴診器による心・呼吸音聴取	1,015	139	154	87	1,395
	血中酸素飽和度測定	2,175	306	516	388	3,385
	心電図	1,584	64	153	167	1,968
	うち伝送	0	0	0	0	0
	除細動	11	0	0	1	12
	その他	31	0	0	6	37
応急処置合計		9,021	1,022	1,754	1,354	13,151
救命処置	気道確保(ラリングアルチューブ等)	25	0	0	0	25
	気道確保(気管挿管)	7	0	3	1	11
	静脈路確保(心肺停止後)	22	0	3	1	26
	薬剤投与	21	0	2	1	24
	血糖測定	39	0	0	0	39
	ブドウ糖投与	10	0	0	0	10
	静脈路確保(心肺停止前)	11	0	0	0	11
	救命処置合計	135	0	8	3	146
応急処置総合計		9,156	1,022	1,762	1,357	13,297
応急処置対象人員		2,260	310	523	405	3,498

過去5年間の救命処置別推移 : 件



※「心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液」並びに「血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」については、平成26年10月1日に舞鶴市消防本部は運用開始しております。

救助



平成30年 救助概要

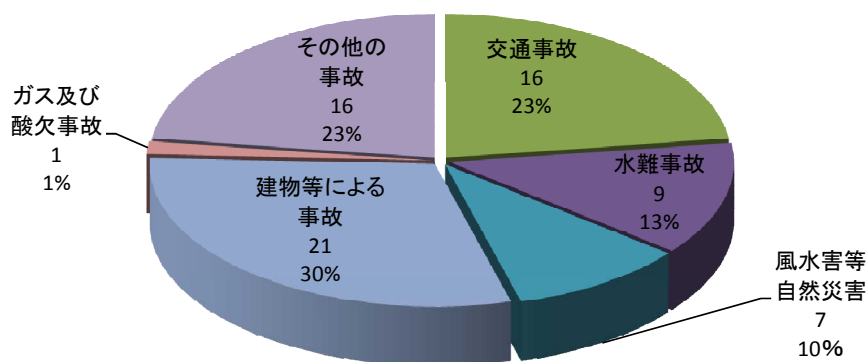
《救助の概要》

平成30年の救助出動件数は70件で、前年と比較すると1件減少し、また、救助人員は56人で前年と比較すると5人増加しました。

事故種別救助人員で見ると、風水害等自然災害が20人と最も多く、次いで建物等による事故が13人、交通事故が9人でした。

区分 事故種別	平成30年			平成29年			前年比較		
	出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員
火災(建物)				2	2	2	△ 2	△ 2	△ 2
火災(建物以外)									
交通事故	16	7	9	19	14	17	△ 3	△ 7	△ 8
水難事故	9	5	5	1			8	5	5
風水害等自然災害	7	7	20	7	5	8		2	12
機械による事故				2	1	1	△ 2	△ 1	△ 1
建物等による事故	21	16	13	20	13	13	1	3	
ガス及び酸欠事故	1	1	1	1				1	1
破裂事故									
その他の事故	16	7	8	19	11	10	△ 3	△ 4	△ 2
合計	70	43	56	71	46	51	△ 1	△ 3	5

事故種別救助出動件数 : 件 : 割合



救助出動件数比較 : 件

